

東証スタンダード市場・福証  
証券コード：6998

投資家のみなさまへ

# 野村IR資産運用フェア2026会社説明会

2026年1月9日

様々な産業での長寿命・高機能化ニーズに応じた  
レアメタル部材等の開発、製造及び販売

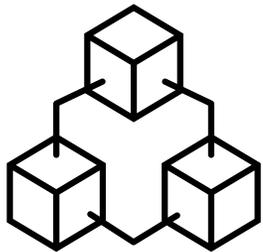
 日本タングステン株式会社

本資料は、当社HPにも掲載しております⇒



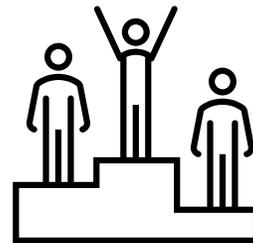
## ポイント①

当社は、高度な  
ふんまつ や きん  
粉末冶金技術により  
お客様ニーズに応える  
高機能・高付加価値製品  
を創出



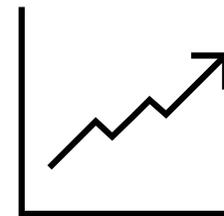
## ポイント②

ニッチな市場で  
トップシェアを確立



## ポイント③

幅広い市場に展開する  
ことで、安定的な成長と  
株主還元を実現



① 当社の事業

---

② 当社の強み

---

③ 企業成長に向けた取組み

---

④ 株主還元

# ① 当社の事業

## 数字で見る <sup>にっぽん</sup> 日本タングステン株式会社

創業

1931年

本社/福岡県福岡市



証券コード

6998

東証スタンダード市場



資本金

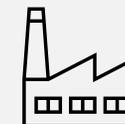
25億950万円



国内工場

3 拠点

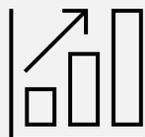
福岡県 2 / 佐賀県 1



売上高

123億円

FY2024/連結



従業員数

511人

2025年3月時点/ 連結



国内子会社

2 社



海外関係会社

4 社

アメリカ / イタリア / 中国 / タイ



## ② 当社の強み

# 強み ① 高度な粉末冶金技術

## 主材料

### タングステン

●元素記号の「W」は、スウェーデン語で「重い石」を意味する。レアメタルに属する。

#### 熱に強い

鉄が溶ける温度は1500℃  
タングステンが溶ける温度は3380℃

⇔ 溶けにくい

#### 固い

炭素とくっつくと非常に硬く  
ダイヤモンドの次に硬い

⇔ 削りにくい

#### 重い

同じ大きさの鉄の 2.5倍  
鉛の 1.7倍  
金とほぼ同じ重さ

⇔ 動きにくい

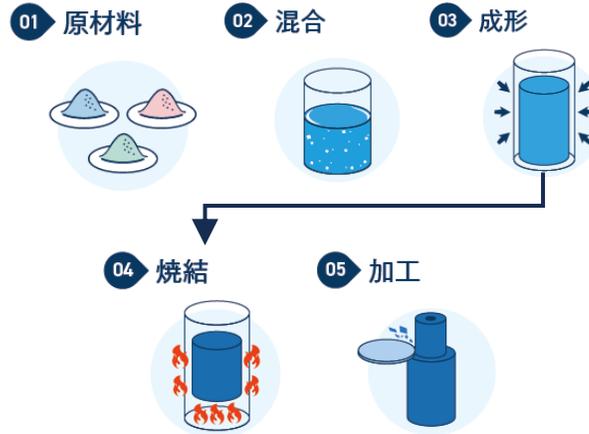


タングstenは  
高度な製造技術を要する材料

## 技術

### 粉末冶金技術

材料の粉末を成型して焼結し、  
製品をつくる製法



タングstenなどの粉末材料を産業用  
製品に導く粉末冶金技術

ニーズに合う機能を引き出す材料技術や  
焼結時の収縮を計算した成形技術が強み

## アウト

### 高機能な製品

様々な材料を融合させ  
お客様ニーズに合った商品を創出

独自の材料配合により、多様な機能を備えた製品を提供します！

#### 耐熱性

電球フィラメント  
高温炉の部品

#### 耐摩耗性・耐酸化性 耐腐食性

耐摩耗部品

#### 高密度

バランスウェイト  
放射線遮蔽材

#### 電気および熱伝導性

電極製品  
放熱板

# 当社の高機能商品創出の歩み

## 「粉末冶金技術」を駆使し、タングステンを軸に多様な特性を持つ高機能商品を創出

1930年代

1950年代

1980年代

2000年代

### 粉末冶金技術

タングステンに銅や銀を組み合わせ、**通電性や耐アーク性を備えた合金**を開発

**熱に強い**タングステンの特徴を用いた電球フィラメントが、当社の出発点

タングステンカーバイドとコバルト等を組み合わせ、**耐摩耗性や耐腐食性に優れた合金**を開発

### 超硬合金製品

(タングステンカーバイド合金)

### セラミックス製品

(セラミックス材料)

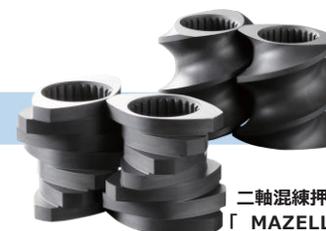
粉末冶金技術を生かし、タングステン以外のチタンやアルミニウム等からなる**緻密な**ファインセラミックスを開発

ハードディスクドライブ(HDD)用  
磁気ヘッド基板

サーバー・クラウド



NTダイカッター



二軸混練押出機用部材  
「MAZELLOY®」

サニタリー用品



### 電気・電子製品

(タングステン製品)



ブレーカー用電気接点



抵抗溶接用電極



プラズマ電極



EVリレー用接点

自動車の部品

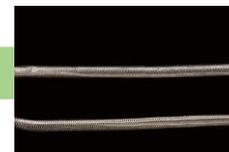


### 金属材料製品

(タングステン製品)



電球用タングステンワイヤー製品



医療関連カテーテル用タングステンワイヤー製品

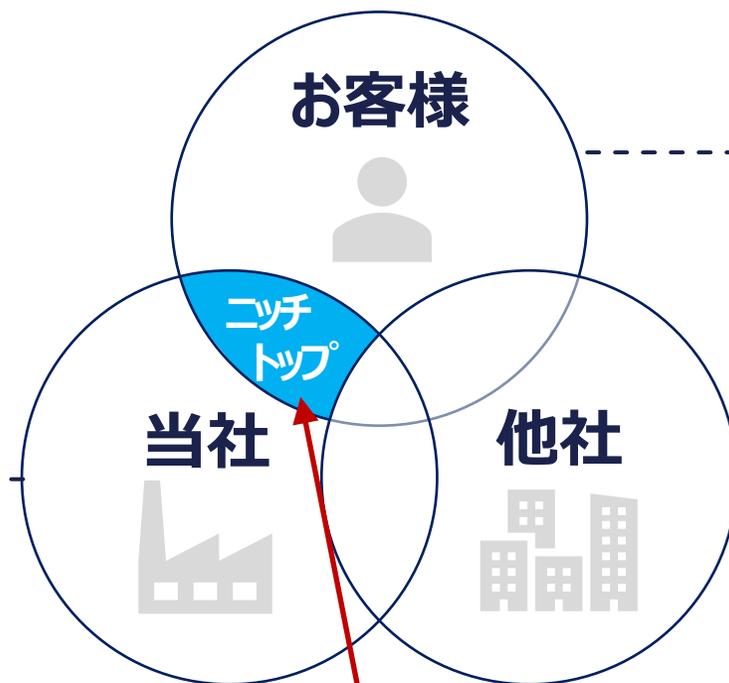
カテーテル治療



## 強み ② ニッチトツプ°

### 当社が提供できる価値

- タングステンを中心とした粉末冶金技術を活用
- 特定用途に最適化した高機能製品・サービス
- お客様のニーズを解決



### お客様が求める価値

- 生産性向上
- コストダウン
- CSRの向上
- リスクの回避
- 付加価値のアップ

## ニッチトップ

高付加価値製品で、トップシェアを確立

# 強み ② ニッチトップ商品 #1

## ハードディスクドライブ (HDD) 用磁気ヘッド基板

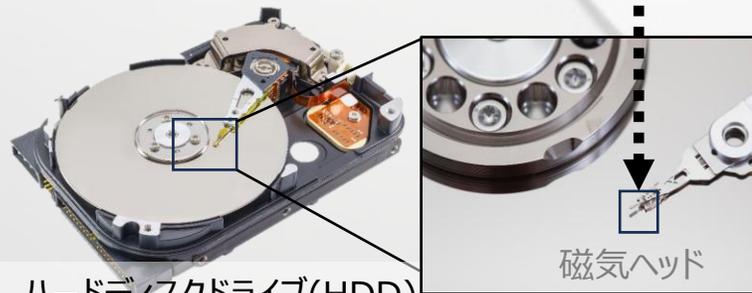
世界 No. 1 シェア(当社調べ)

当社の磁気ヘッド基板は  
約8割の世界シェア

世界の磁気ヘッドメーカーのシェア



切り出して磁気ヘッド  
先端部へ装着



ハードディスクドライブ(HDD)

高い性能・品質・信頼性

高純度

緻密

微細で均質

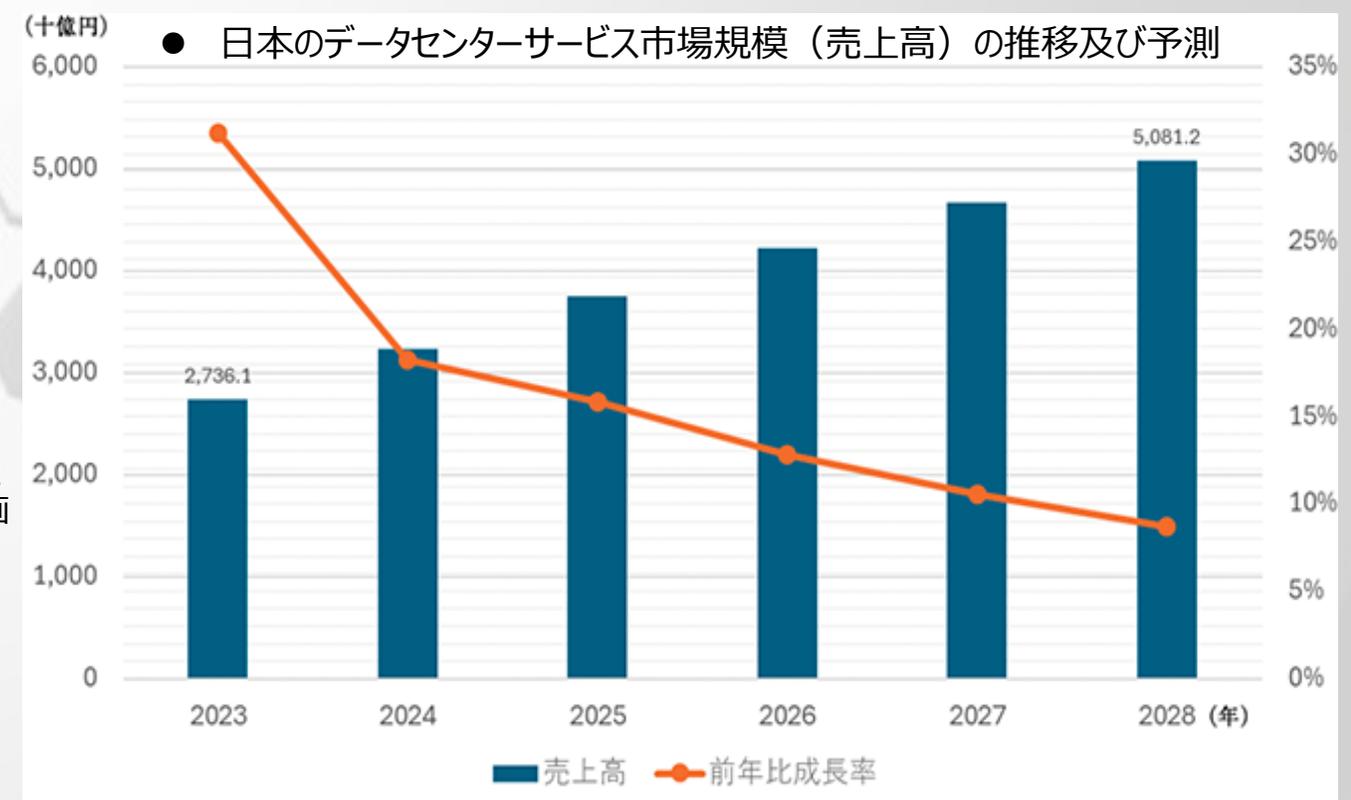
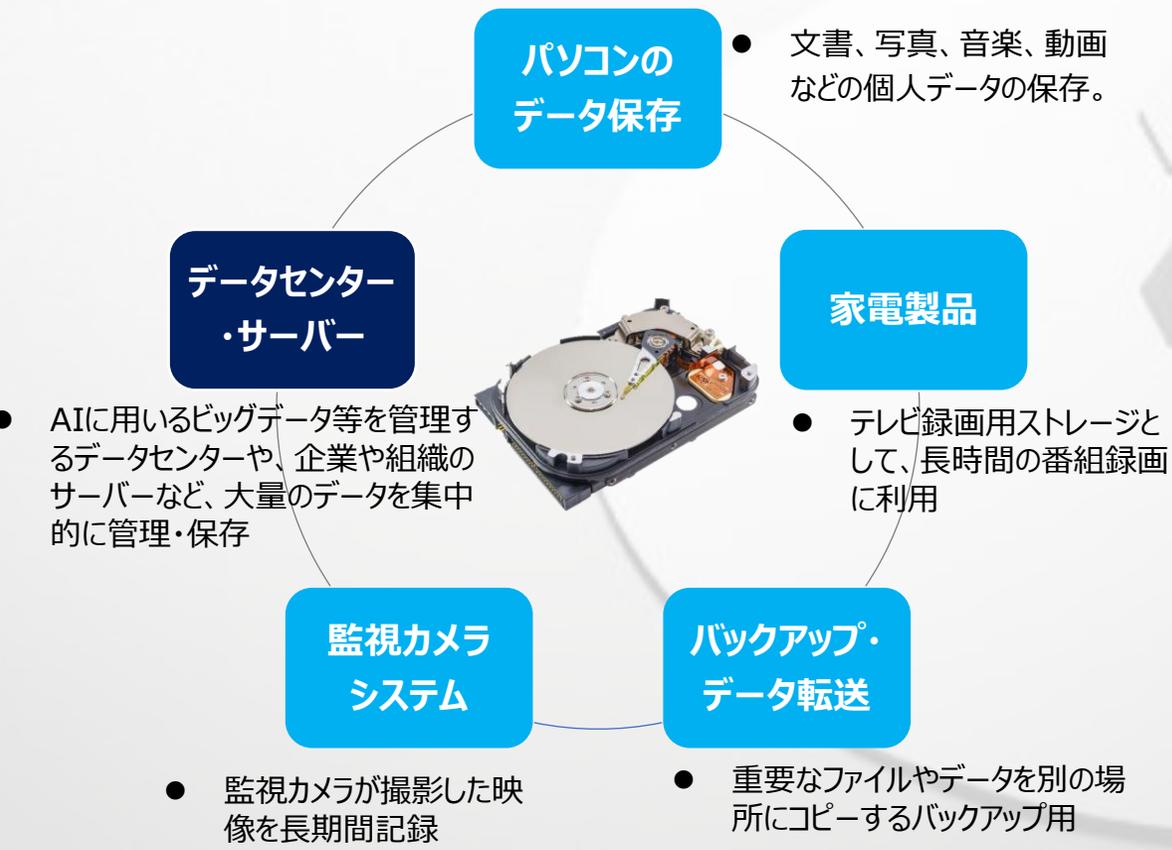


■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社

(出典) テクノ・システム・リサーチ社

# 強み ② ニッチトップ商品 #1

●HDDは、近年、大量のデータを集中的に管理・保存する**データセンター用途**が主流。  
 ●大容量データの保存を必要とするデータセンター等での需要に支えられ、堅調に推移する見込み。



※ 2023年は実績、2024年以降は予測  
 (出典) IDC Japan, 2024年10月「国内データセンターサービス市場予測、2024年～2028年」(JPJ51508524)

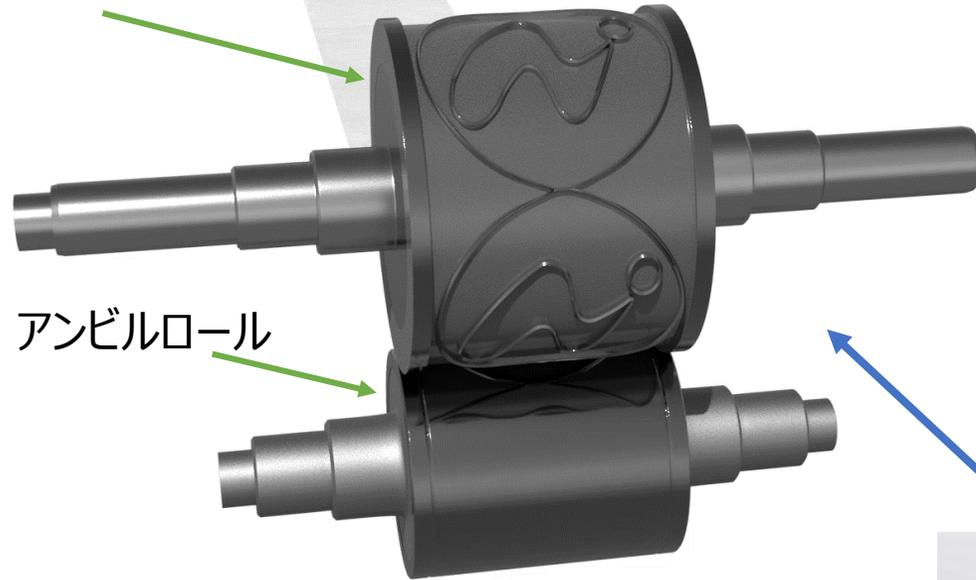
# 強み ② ニッチトップ商品 #2

## 超合金製 NTダイカッター

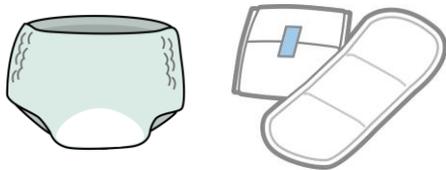
世界 No.2 シェア(当社調べ)

国内 No.1 シェア(当社調べ)

刃先付きロール (ダイカッター)



アンビルロール



ユニット外観

- 回転しながら不織布を切断するロータリーカッター
- ナプキンや子供・大人用おむつに使われる不織布の切断・輪郭加工

- 製品販売や刃先を再研磨するサービスを**グローバルに展開**



- 市場が成長する中国や中東等に**拡販活動を展開**

## お客様の視点に立った商品開発やサービスを展開

### 新材料開発

新材料の提供により、  
NTダイカッターの寿命を  
当社従来品比約3倍に強化

硬さ

衝撃への  
耐久性

両者のバランスを追求

より硬くて欠けにくい刃先が  
製品を長寿命化

### 新ユニット構造

ユニットを新設計することで、  
当社商品のユーザビリティを強化



- 1 切断トラブルの未然防止や、お客様の安定生産
- 2 誰でも簡単セッティング、簡単メンテナンス
- 3 お客様のロール交換作業時間を短縮

### モニタリング・サービス拡充

お客様の使用状況をモニタリングし、  
ニーズ解決・アフターサービスを強化



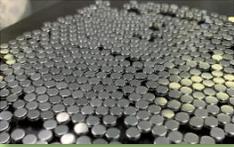
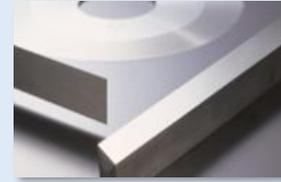
- 1 お客様使用時の切断トラブルの早期解決・未然防止
- 2 刃先の再研磨時期を予測したお客様への適切なフォローの確立
- 3 お客様の使用状況に合わせた、刃先の再研磨仕様の確立

## 強み ③ 幅広い市場で展開

# 強み ③ 幅広い市場で展開

## 粉末冶金技術を生かした商品群を4つのターゲット市場に展開

★ ★ ★ 特定の市場に偏らず安定した事業基盤となっている！

ターゲット市場	事業セグメント	
	機械部品事業	電機部品事業
衛生用品機器 ・医療用部品市場	 <p>NTダイカッター 国内No.1・世界No.2シェア(当社調べ) 新材料を開発</p>	 <p>医療関連カテーテル用 タングステンワイヤー製品</p>
半導体・電子部品市場	 <p>ハードディスクドライブ(HDD) 用磁気ヘッド基板 世界 No. 1 シェア(当社調べ)</p>	 <p>プラズマ電極 給電端子部品</p>
自動車部品市場	 <p>二軸混練押出機用部材 「MAZELLOY®」 (マゼロイ) <b>新商品</b></p>	 <p>抵抗溶接用電極 (電装部品溶接用) EVリレー用接点 </p>
産業用機器・部品市場	 <p>産業用設備向け耐摩耗部材</p>	 <p>ブレーカー用電気接点</p>

## 様々な場面で暮らしを支える当社の製品

### ■ 半導体・電子部品市場

サーバーなどのハードディスクドライブの読み取り装置を支える基板や、「産業のコメ」といわれ、電子デバイスの基本材料となる半導体にも、その製造過程で当社の製品が使われている。



### ■ 自動車部品市場

先端技術を駆使した自動車の部品や、製造工程にも当社の製品が使われている。



### ■ 衛生用品機器・医療用部品市場



カテーテル用のブレードチューブや電気手術用電極など、医療分野でも当社の製品が使われている。



皆様の健やかな生活を支える衛生用品の製造工程でも、当社の製品が使われている。

### ■ 産業用機器・部品市場

より効率的な生産への改善や、安全面、環境面への管理に対し、信頼性の高い部品が求められています。高品質な材料を活かし、当社の様々な製品がこの分野でも活躍している。



# ターゲット市場別の売上高

自動車部品市場 1,783百万円



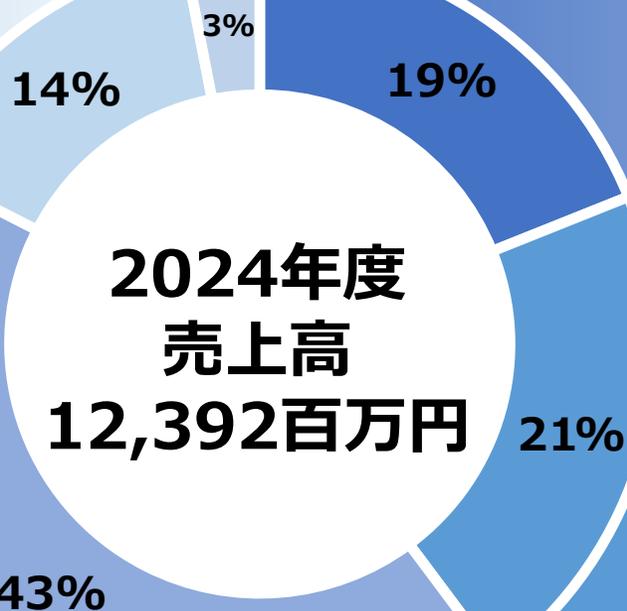
その他市場  
378百万円

衛生用品機器・医療用部品市場

2,346百万円



2024年度  
売上高  
12,392百万円



産業用機器・部品市場

5,295百万円



半導体・電子部品市場

2,589百万円



# 新商品紹介

## 二軸混練押出機用部材 MAZELLOY® (マゼロイ)



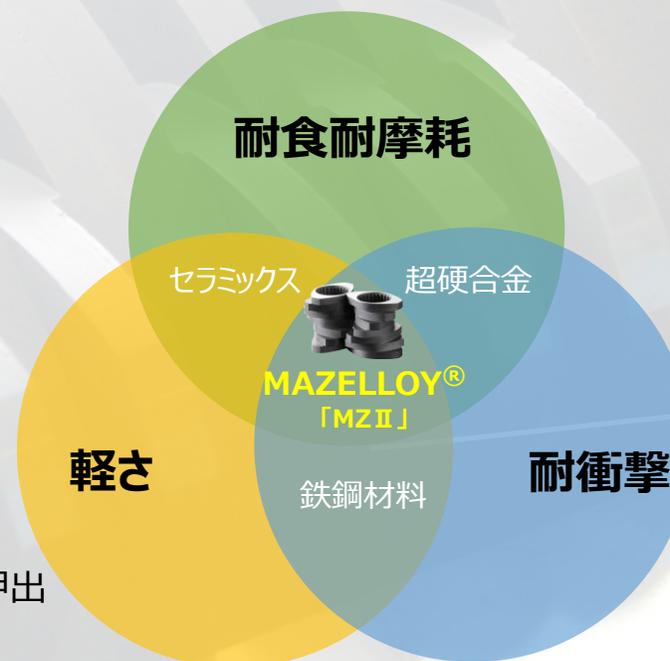
### 二軸混練押出機

二軸混練押出機は2本のスクリーを回転させ、コンパウンドを行うための装置



- 「MAZELLOY®」は、耐摩耗性・耐腐食性・耐衝撃性を高い次元であわせもつ高機能商品
- お客様が製造する材料に合わせて特性を最適化したシリーズ商品を開発中

### 用途に合わせて特性を最適化する材料開発力

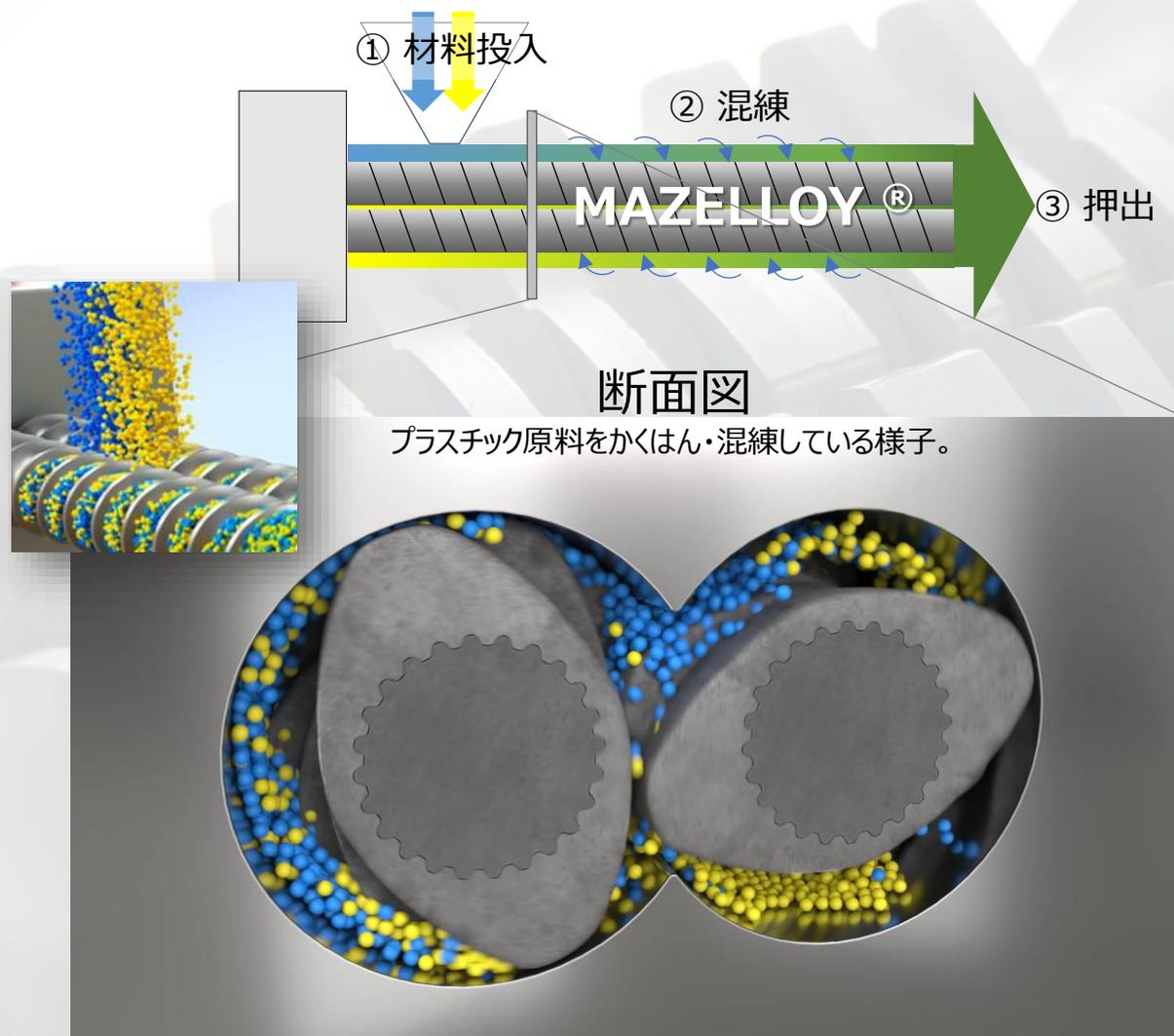


### MAZELLOY®のメリット

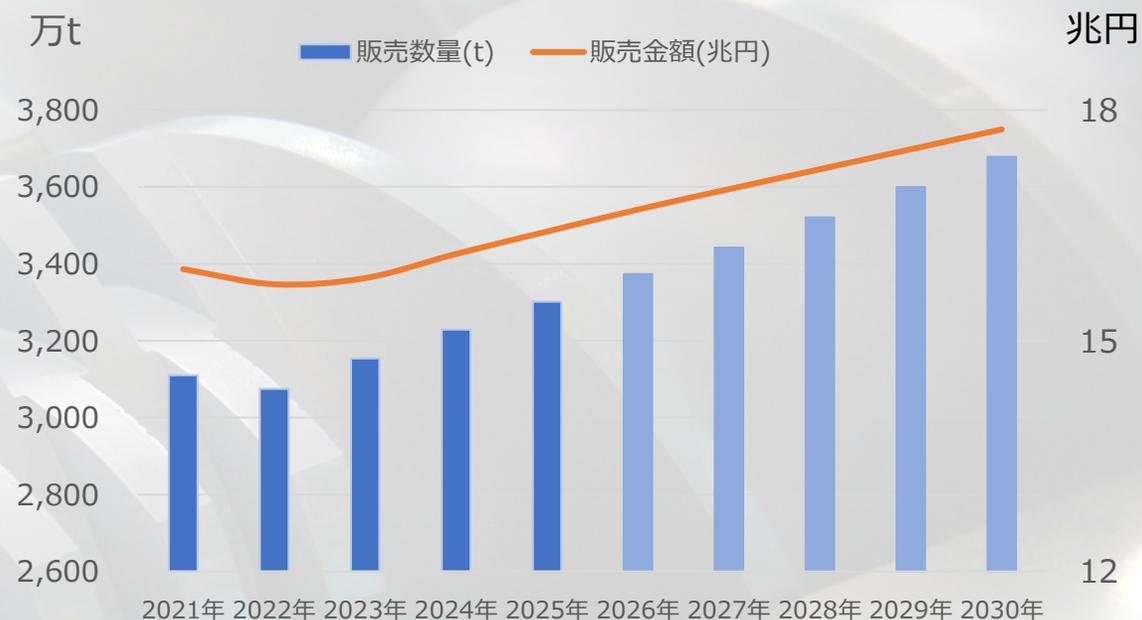
- 1 製造物の品質向上  
腐食・摩耗に強く摩耗成分の混入最小化
- 2 管理工数削減  
多用途の生産に対応
- 3 コストダウン  
部材の交換頻度削減

# 新商品紹介 MAZELLOY®

- 「機能性コンパウンド市場」は自動車ボディの軽量化が進むと予測されており、**参入を目指す。**



## 機能性コンパウンドの世界市場予測



参考：富士経済「2024年コンパウンド市場の展望とグローバルメーカー戦略」。



## 高機能プラスチックの用途の拡大

自動車のプラットフォーム、ルーフ、ドア、フードなどでCFRP（炭素繊維強化プラスチック）の需要が拡大

## MAZELLOY® (マゼロイ) が各賞を受賞

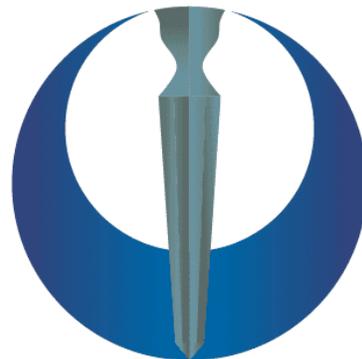
**2022年“超”モノづくり部品大賞**  
において「日本力 (にっぽんぶらんど) 賞」  
を受賞

(主催：日刊工業新聞社)



**2023年第9回ものづくり日本大賞**  
において「優秀賞」を受賞

(主催：経済産業省他)



ものづくり日本大賞  
優秀賞

**2025年日本機械工具工業会賞**  
において「技術功績賞」を受賞



## ③ 企業成長に向けた取組み

- これまでの中期経営計画を振り返り、成長と収益拡大に向けた経営課題を特定。

## 課題 1

### 全社戦略の 抜本的強化

- 顧客価値起点で戦略を再構築し、全社最適化。
- ニーズ探索と技術強化に投資し、学習文化で長期競争力を確保。

## 課題 2

### 組織間シナジーの 最大化

- 機能別組織に再編して製造・営業・開発の専門性を強化。
- 機能統合で組織シナジーを最大化。

## 課題 3

### 生産性と 付加価値の向上

- 生産性・付加価値の指標を定義して体系的にお客様価値を創出。
- 製造・間接部門で工数削減と生産性改善を継続してコスト競争力を確保する。

# 次期中期経営計画の策定に向けて

## 全社戦略 方針

- お客様ニーズを起点に、当社の強みを活かした高付加価値製品・サービスで持続的成長を実現。
- 既存事業の根幹を成す粉末冶金技術の強化を企業の成長基盤とする。
- 収益改善に向けて全社視点で事業を分析しポートフォリオ再編の仕組みを強化する。

## 次期中期経営計画の骨子

- 次期中期経営計画を2026年度よりスタート



全社ビジョンの見直し  
(2030 Vision)



事業ドメインの再定義



コアコンピタンスの強化



付加価値創造サイクル  
の構築・組織機能の強化

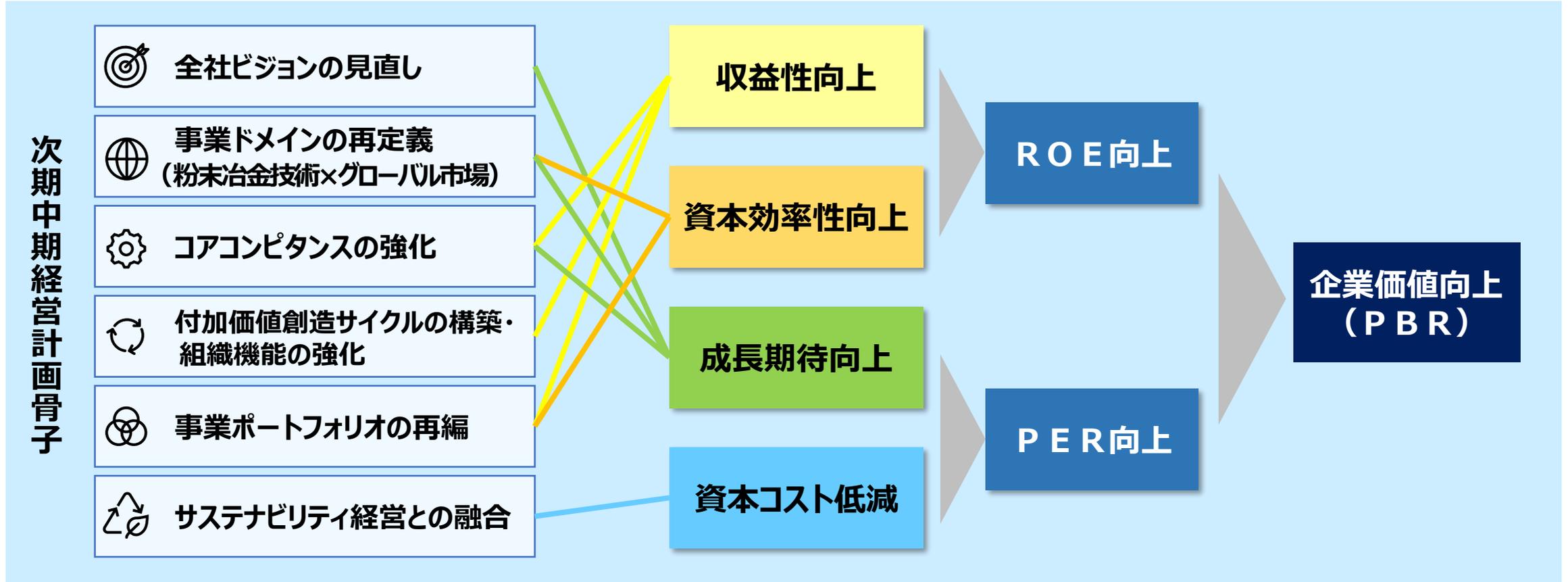


事業ポートフォリオ  
の再編



サステナビリティ経営  
との融合

- 次期中期経営計画の骨子の取組み
  - ✓ 収益性や資本効率性を高めることでR O Eを向上させ、
  - ✓ 成長期待の向上や資本コストの低減によりP E Rを向上させることで、
  - ✓ 企業価値（P B R）を向上させていく。



より少なく、よりよく。

BUILDING A BETTER WORLD FROM LESS.

限りある資源をもとに“ものづくり”を支える私たちだからこそ持続可能な社会に貢献していくことを使命ととらえ、パーパスのもと、サステナビリティ経営に取り組んでいます。

# サステナビリティ経営の取組み

- 限りある資源をもとに“ものづくり”を支える私たちだからこそ持続可能な社会に貢献していくことを使命ととらえ、パーパス「より少なく、よりよく。」のもと、長期ビジョンとなるサステナブルビジョン2050の達成に向けて、5つの「成功の柱（マテリアリティ）」を設定し、環境・社会課題への対応や社会貢献活動に取り組む。

## 成功の柱

## 2050年の目指す姿

CN	カーボンマイナスへの挑戦 (Carbon Negative)	実質カーボンマイナスを達成します。
CE	枯渇リスクの高い資源の有効活用 (Circular Economy)	枯渇リスクの高い資源の最終廃棄をゼロにします。
CV	提供価値の転換と新たな価値の創出 (Creation of Value)	消費資源量あたりの価値を大きく飛躍させるビジネスモデルを構築します。省エネ、省資源、脱炭素などの社会課題解決につながるソリューションの提供を中核事業とします。
CW	働きがいと創造力のスパイラルアップ <sup>o</sup> (Upward spiral of Creativity and Well-being)	多様な価値観を持った人々が、働きがいを感じ、積極的に力を合わせて価値創造に挑戦する企業文化を醸成します。
CX	リアルとデジタルの融合 (Creation with real & digital transformation)	データ活用とデジタル技術を基盤とし、価値創造サイクルを迅速に回して提供価値を高めます。

## ■ 外部評価「EcoVadis」について



当社は、サステナビリティへの取組みが評価され、EcoVadis社※が評価した企業全体の上位35%に与えられる「ブロンズメダル」を2023年度～2025年度の3年連続で獲得

※EcoVadis（エコバディス）社（本社：フランス）  
12万社（180カ国、200業種以上）を超える企業に対して、サステナビリティ評価サービスを提供する国際的な評価機関。

## ④ 株主還元

## 時価総額100億円以上を経て、PBR 1.0倍超を目指す

- 株式流動性向上に向けた基盤の強化を実施。
- 次期中期経営計画の骨子に掲げた取組みや、投資家等とのコミュニケーション、株主還元施策の強化等を通じてPERを高めていく。

目標

・時価総額100億円以上

・PBR 1.0倍超

・個人及び機関投資家とのコミュニケーション  
・株主還元施策の強化

### 成長期待向上の取組み

- 次期中期経営計画の骨子に掲げた取組み
  - ・全社ビジョンの見直し
  - ・事業ドメインの再定義(粉末冶金技術×グローバル市場)
  - ・コアコンピタンスの強化

### 株式流動性向上に向けた基盤づくり

- 2023年2月 貸借銘柄選定
- 2023年5月 配当方針変更  
(年間配当金の下限50円の設定)
- 2024年1月 株式分割 (1:2の分割)

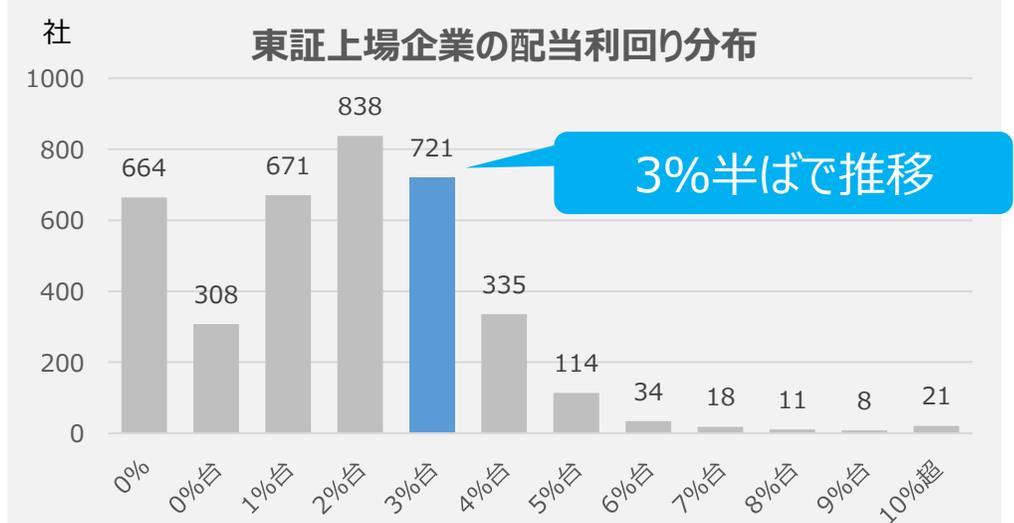
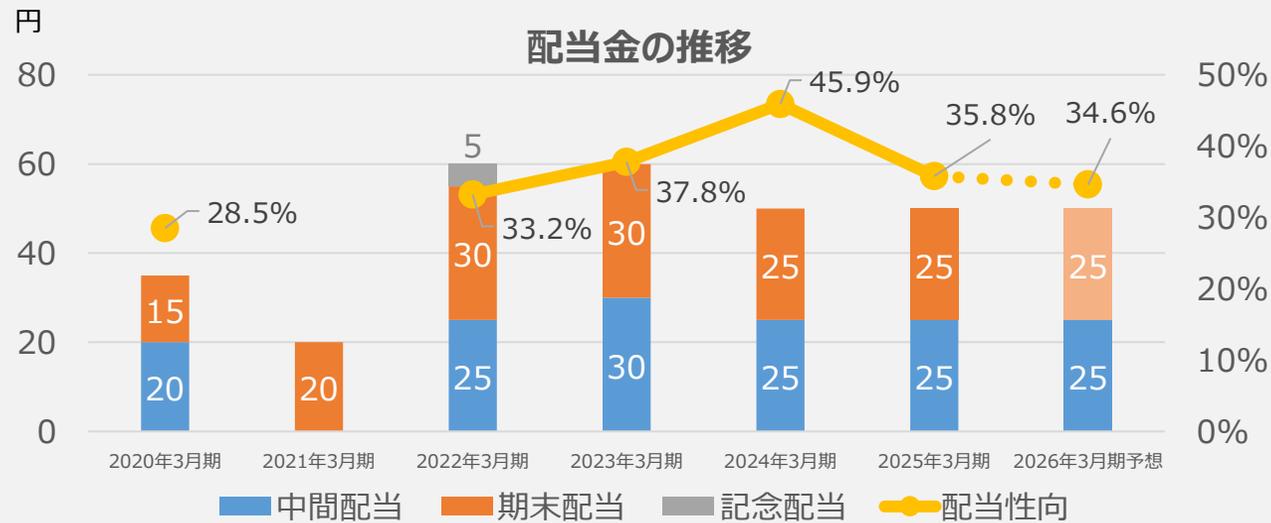
- 1株当たり年間配当金の下限を50円に設定。
- 配当利回りは、現在3%半ばで推移しており、東証上場企業の中では、上位30%に入る。
- さらなる株主還元について、継続的に検討。

## 配当方針

年間の1株あたり配当額  
50円を下限に設定

安定的・継続的な配当

親会社株主に帰属する  
当期純利益の30%を目安



(注) 1 2021年3月期は当期純損失であったため配当性向は該当ありません。  
2 2024年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。  
2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金額を算定。

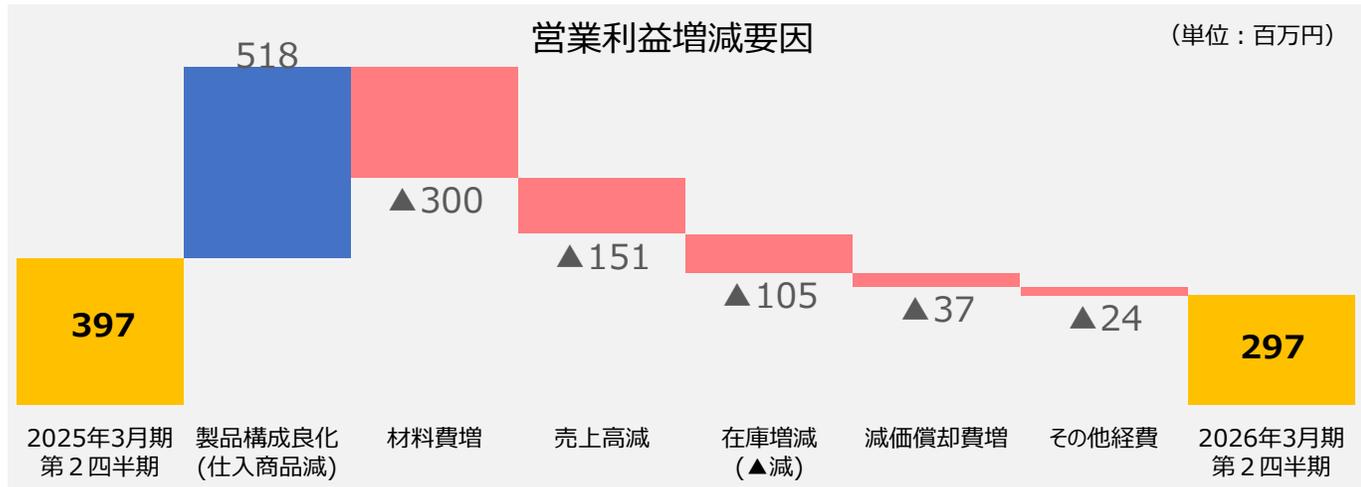
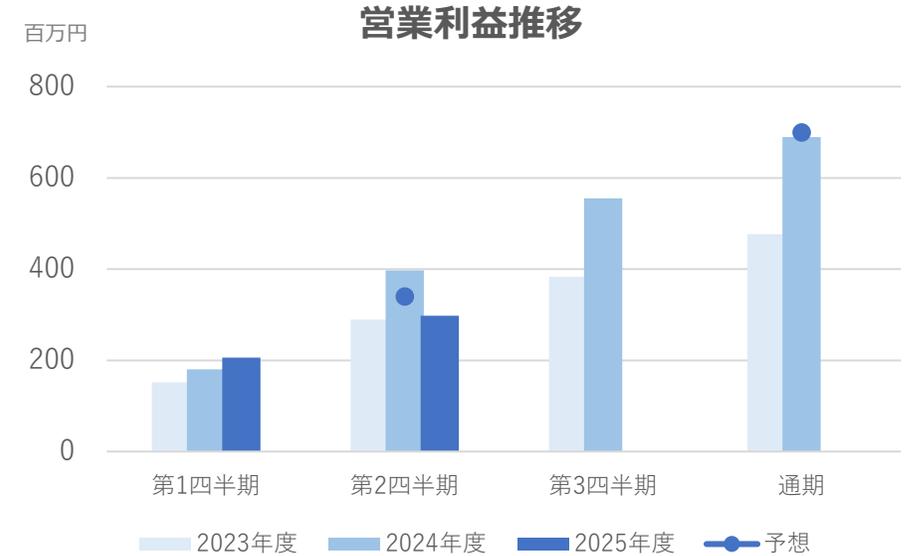
(注) 1.SPEEDAのデータベースを基に当社作成。  
2.東京証券取引所上場企業3,743社を対象に作成。

# 2026年3月期（2025年度） 第2四半期決算の状況（連結）

## ● 業績の状況・主な経営指標

	2025年3月期 第2四半期 (中間期)	2026年3月期 第2四半期 (中間期)	(単位：百万円)	
			増減額	増減率 (%)
売上高	6,309	6,050	↓ △259	△4.1
営業利益	397	297	↓ △99	△25.1
経常利益	523	440	↓ △83	△15.9
親会社株主に帰属する 中間純利益	354	304	↓ △50	△14.2

## ● 営業利益の推移と業績予想に対する進捗率



## ● 今後の見通し

世界経済は減速見込み、国内は内需で回復基調

- 医療・半導体部品は堅調
- 自動車部品は一部伸び悩み
- 産業機器は中国需要減で低迷

## 日本タングステンの事業

- 「熱に強い」「硬い」「重い」という難材料である**タングステン**から、**粉末冶金技術**を用いて、「摩耗しにくい」「腐食しにくい」といった材料（マテリアル）の力を引き出し、高機能な商品を製造。
- 幅広い市場でニッチトップを目指す金属加工メーカー。**自動車製造用や産業用の機械部品、半導体・衛生・医療などの市場に展開。**

## 企業成長に向けた取組み

- 中期経営計画を振り返り、成長と収益拡大に向けた経営課題を特定し、**全社戦略方針**と6つの柱からなる、次期中期経営計画の骨子を策定。
- ドメイン・コアコンピタンスに基づき、個別戦略や目標等を定めた**次期中期経営計画を2026年度よりスタート。**

## 企業価値向上の取組みと株主還元

- **時価総額100億円を経てPBR1.0倍以上を目指す。**
- 1株当たりの年間配当金の下限を50円に設定し、株主還元を強化。
- さらなる株主還元について、継続的に検討。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



- I Rに関するお問い合わせ先
- 経営管理本部 経営管理部 : TEL092-415-5500
- mail : [info@nittan.co.jp](mailto:info@nittan.co.jp)
- ホームページ : <https://www.nittan.co.jp/>